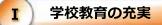
## 地域との連携・協働の全体像

従来、子どもたちの成長を支えていた家庭や地域の教育力が、核家族化や地域コミュニティの希薄化などに伴い低ようになっていますが、学校だけでの対応には限界があります。このため、幅広い地域住民等の参画により、地域とを行う「学校支援地域本部」や「放課後子ども教室」等の設置促進及び活動内容の充実を図り、地域ぐるみで子どもの



- ○地域の色々な大人が学校の活動に 関わる
- ○多くの大人が子どもたちを見守る
- ○地域住民の協力を得る

#### 事業実施により得られる効果【目指すべき姿】

子ども

子どもたちに**多様な体験・経験の機会**が増える **規範意識や自尊感情、コミュニケーションカの向上**につながる

子ども

子どもたちの**学力や生活面での問題の背景**を把握し、**一人ひとりの状況に応じたよりきめ細かな教育**ができる

学校

**教員が、教育活動により一層力を注ぐ**ことができる

P. 4~20参照

### 市町村

(実施主体)

● 充実した活動が行われるよう、 10~30の体制を

●地域との連携・協働による学校を支える体制づくり

★ 地域住民等の参画により、地域と 学校が連携・協働しながら様々な

#### 運営委員会

#### (1) 運営委員の選定

- ・行政関係者 (教育委員会、福祉部局及び まちづくり担当部局等)
- ・学校関係者

1

- ・PTA関係者
- ・社会教育関係者
- ・民生委員・児童委員
- · 学識経験者 等

# 活動に反映

活動に

反映

1 学習支援

学校支援地域本部

学校支援活動を実施

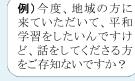


3 環境整備

4 登下校安全指導

5 学校行事支援

6 その他





学校側の窓口

#### (2) 運営委員会の開催

- ・事業計画の策定、安全管理方策、広報活動方策、ボランティア等の地域の協力者の人材確保方策等の検討
- ・活動プログラムの企画
- PDCAサイクルによる事業の検証・評価 等

★ 地域の多様な経験や技能を持つ 人材・企業等の協力により、土曜 日の教育活動を充実

土曜教育支援事業

・出前授業

・キャリア教育 等

地域連携担当教職員

●地域との連携・協働による放課後等の居場所づくり(放課後子ども総合プラン)

#### 放課後子ども教室

P. 22~36参照

活動に 反映

- ★ 地域の全ての子どもが対象
- ★ 地域の多くの方々による見守り



- ・体験活動
- ・交流活動
- ・学びの場 (放課後等学習支援事業を含む)
- ★ 保護者が労働等により昼間家庭にいない 小学校に就学している児童が対象
- ★ 専任の支援員等による見守り

- ・生活の場
- ・遊びの場
- 学びの場

放課後児童クラブ

P. 38~40参照

#### ~地域ぐるみで子どもの育ちを支援する体制づくり~

下しているとともに、子どもたちに関わる課題は多様化・複雑化しており、学校にはこれらへの対応が強く求められる学校とが連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動(地域学校協働活動)育ちを支援する体制づくりを目指す必要があります。

